

No・オプション名	15) 粗面形成装置(除雪トラック用、凍結防止剤散布車用)
使用機械	除雪トラック、凍結防止剤散布車
使用工法	路面整正(除雪トラック)、拡幅除雪(除雪トラック)、凍結防止剤散布(散布材の定着)
使用場所	道路(市町村道、県道、国道、高速)
使用法	路面整正作業の直後では路面が平滑で表層の圧雪が僅かに溶けているため後続車両がすべり易くなる。そのため、後続車両のスリップを防止するため、路面整正作業と同時に粗面形成装置による施工を行う。また、凍結防止剤散布作業前に同時施工で粗面化すると凍結防止剤の定着性・飛散防止効果を高めることができる。
機能構造	<p>整正後の平滑な圧雪路面又は氷盤路面の表面に、タイン(溝形成のための部品)又は超硬ビット付タインあるいは超硬ツース(超硬金属の爪)などにより、筋状の傷をつけて粗面を形成し自動車等のスリップを改善する装置。除雪トラックでは車両後部に取付けるタイプ、凍結防止剤散布車では、ホイールベース間に取付けるタイプがある。ゴムやバネなどの緩衝装置を備えたタインまたは超硬ツースが、取付フレームに並列に配列されている。取付フレームを昇降シリンダによりリンク機構を介して下降させ、タインまたは超硬ツースを路面に押し付けて走行するこ</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>写真 粗面形成装置(除雪トラック用例1) 写真 粗面形成装置(除雪トラック用例2)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>写真 粗面形成装置(凍結防止剤散布装置)</p>

特徴

- ・トラックグレーダで作業したあとはツルツル路面となり、スリップ事故が起きやすくなる。また、登坂車線では摩擦係数低下により発進不能車が立ち往生する心配がある。粗面形成装置は、路面に筋状の傷を付け、滑り抵抗を高めてスリップ防止に貢献する。
- ・1台で路面整正と粗面化作業を同時施工できるので路面整正直後のつるつる路面対策や凍結防止剤の定着性、飛散防止に有効である。
- ・縦縞により走行安定性の向上、横滑り低減、停止距離の短縮、表面積増大による融雪・軟化促進に効果がある。
- ・板バネ若しくは追従用防振ゴムにより安定した押しつけができる。
- ・運転席のコントロールスイッチで押付圧を制御できる。
- ・一部の高速道路で使用されている。国道では通常除雪グレーダに取り付けられる。

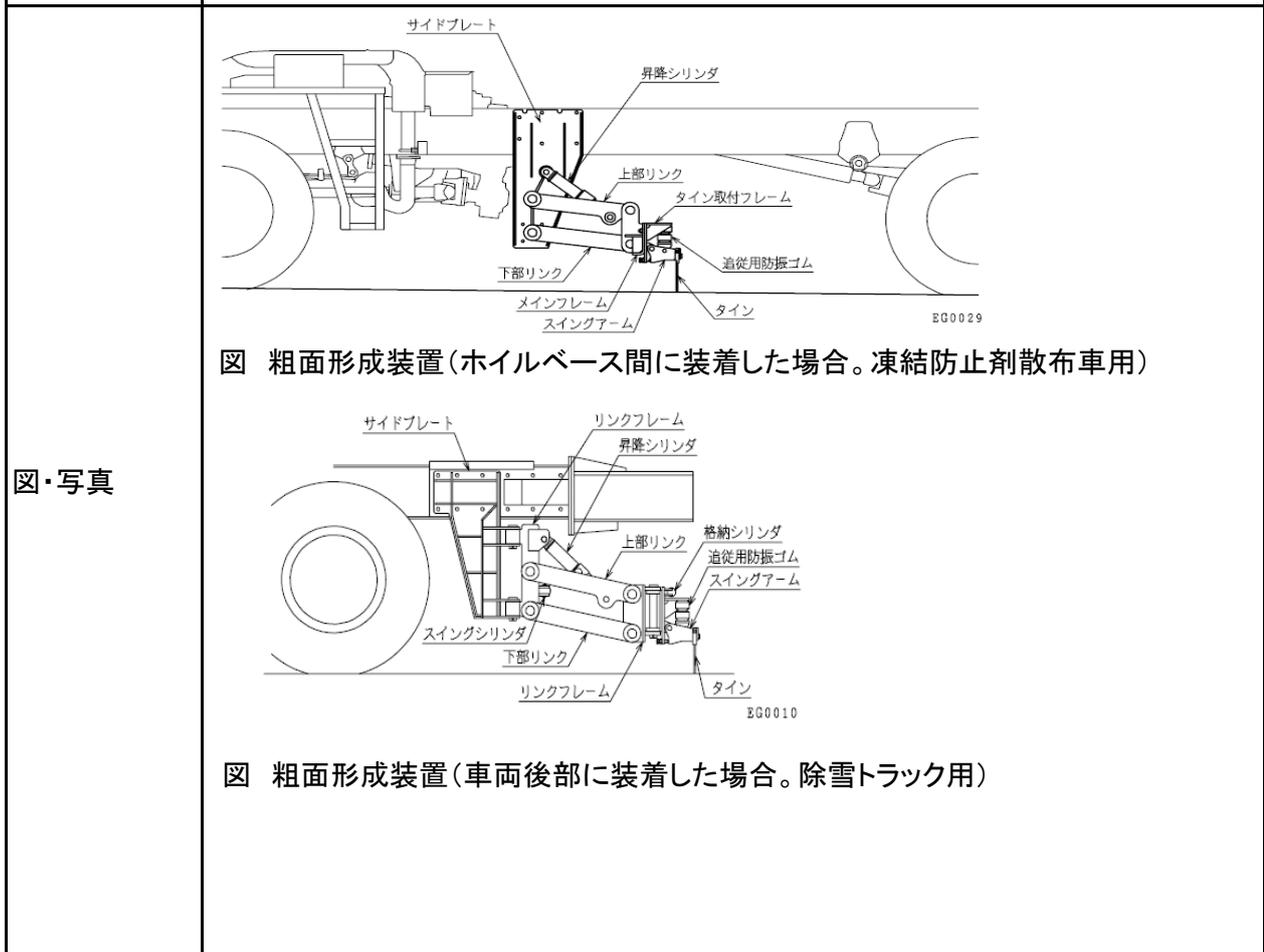




写真 粗面形成装置(除雪トラック用)による作業

図・写真



写真 粗面形成装置(凍結防止剤散布車用)による作業

備考